

令和7年トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会

Otafukuグループ 事例発表

2026年2月16日
オタフクソース株式会社
執行役員 SCM部 部長
小田 孝広



① 会社紹介

② 平成29年パイロット事業振り返り

③ 2016年以降主な取り組み事項

④ 改正物流効率化法を踏まえた取り組み

① 会社紹介

② 平成29年パイロット事業振り返り

③ 2016年以降主な取り組み事項

④ 改正物流効率化法を踏まえた取り組み

使命感 (Mission)

食を通じて「健康と豊かさ」と和をもたらし、笑顔あふれる社会に寄与します

私たちの誓い (Value)

【五方よし】

お客様への誓い

お客様の笑顔と感動のために、英知を結集します

社員への誓い

社員が生き活きとはたらくために、環境整備と人材育成を推進します

お取引先への誓い

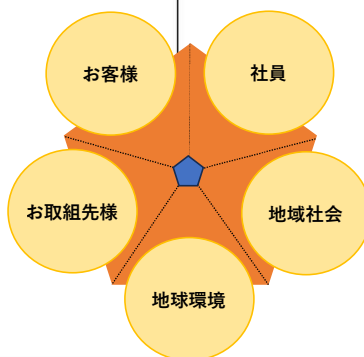
良きパートナーとして、共に新たな価値を創造します

地域社会への誓い

地域に根差し、本業を通じて社会に貢献します

地球環境への誓い

地球環境を愛しみ、自然と調和した活動を行います



創業者・佐々木清一の言葉



● ものごとはすべて善意に解釈し、明るく前向きに積極的に行動する人となろう

・世の中、皆が笑顔で幸せになれるよう、実践しましょう

● 人々に喜びと幸せを広めることを、自らの喜びとする

・人間、輪を保つためには、まず相手を思いやることが大切です。お多福の心は思いやりの心です。

調味料は人様の口に入るものだから、体に良くない原料は一切使ってはいけない

・人の体に入るものを作ることは、お客様の健康をお預かりしているということ。体に良くない原料は一滴たりとも使ってはいけません。

一滴一滴に性根を込めて

・ものを作るには、性根を入れて作ったものでないと売れないし、売ってはいけません。

コーポレート
スローガン

Borderless Happiness
小さな幸せを、地球の幸せに。

「お多福」に
込める願い

「多くの人に福を広める」

いつも笑顔を絶やさない「細い目」、謙虚な姿勢「低い鼻」、ひかえめで無駄口を言わない「小さな口」、聞き耳を持つ「大きな耳」、心身ともに健康「ふくよかな頬」、聡明で賢い「広い額」は心の美しさを表しています。人生の甘いも、辛いも、酸いも、苦いも知り尽くした方に永く愛されることを願い、当社では永年「お多福」をブランドとしています。



Otafukuグループ概要



| | |
|--------------------|-----------------|
| 創業 | 1922年11月26日 |
| 事業会社 | 国内6社、海外3社 |
| 生産拠点 | 国内4、海外3 |
| 社員数 2025/10/1時点 | 951名(男539/女412) |

海外 17.7%
(56億円)

9社連結売上
317億円

国内 82.3%
(261億円)

(2024年10月～2025年9月実績)

■グループ企業一覧

オタフクホールディングス(株)

オタフクソース(株)

お多福醸造(株)

お好みフーズ(株)

OPP(株)

(株)ナカガワ

Otafuku Foods, Inc.

大多福食品(青島)有限公司

OTAFUKU SAUCE
MALAYSIA SDN.BHD.

生産拠点(広島)

本社・本社工場

大和工場※お多福醸造(株)



生産拠点(栃木)

日光工場



生産拠点(長崎)

長崎工場

※(株)ナカガワ



研究開発・情報発信拠点(広島)

WoodEgg お好み焼館

RDセンターWillEgg

お好み焼体験スタジオ OKOSTA



支店・営業所

- 札幌
- 東京
- 大阪
- 広島
- 福岡
- 仙台
- 名古屋
- 岡山
- 香川

① 会社紹介

② 平成29年パイロット事業振り返り

③ 2016年以降主な取り組み事項

④ 改正物流効率化法を踏まえた取り組み

【事業内容】

トラック輸送ににおける長時間労働抑制に向けたパイロット事業

【事業受託者】

日本PMIコンサルティング株式会社
代表取締役 小坂 真弘 様

【取り組み企業】

新生倉庫運輸株式会社（物流パートナー）
株式会社サン・エクス（物流パートナー）
オタフクソース株式会社（荷主）

【実施期間】

平成29年7月～平成29年11月

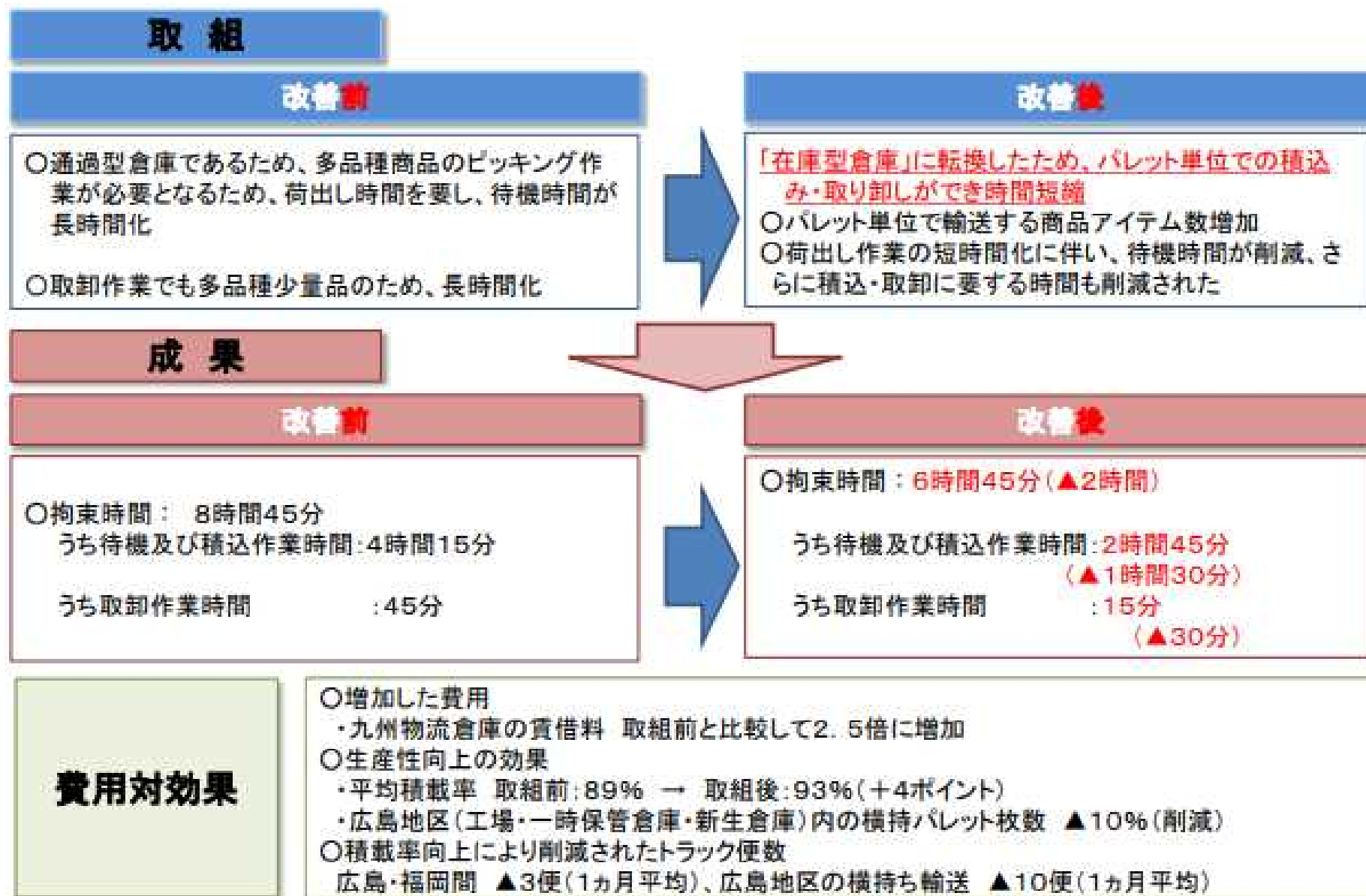
【成果報告】

平成30年2月20日

【取り組み企業概要】



【実証実験成果】



① 会社紹介

② 平成29年パイロット事業振り返り

③ 2016年以降主な取り組み事項

④ 改正物流効率化法を踏まえた取り組み

2016年以降の主な取り組み事項

2016年

12月 JPRパレット変更具体的な取り組み開始

※2014年から取り組み検討開始

2017年

7月 九州DC設置

10月 出荷パレットラップ養生当社作業に変更

2018年

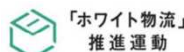
4月 JPRパレット変更

10月 関西DC設置

2019年

7月 ホワイト物流自主行動宣言

12月 グリーン物流パートナーシップ登録



2020年

9月 家庭用商品賞味期限年月表示開始

2021年

3月 広島-札幌DC RORO船 輸送開始

4月 宇都宮DCを関東DCへ統合 (ユニオンソース日光工場)

広島-関東DC RORO船 輸送開始

10月 AOI需要予測システム運用開始

2022年

6月 納品請求書電子化

9月 埼玉DC設置

10月 お多福醸造物流業務統合

2023年

10月 SCM部へ組織変更

SCMへの本格的取り組み開始

2024年

5月 広島-中部DC 20tトレーラー
運用開始

10月 広島-関東DC 20tトレーラー
運用開始

2025年

1月 広島-関西DC 20tトレーラー

7月 納品LT並びに受注時間延長

国内物流拠点

(6拠点 + 1専用拠点)



※消費地、生産拠点を加味し配置
(全て委託)

2014年8月1日開設

札幌DC (札幌)
主な納品先
北海道全域

2000年8月31日 国内初開設

広島DC (広島)

主な納品先
中国地方全域、四国地方全域、
兵庫県、京都府、滋賀県

2018年10月29日開設

関西DC (大阪)

主な納品先
関西地方全域、兵庫県、
奈良県、京都府、三重県、
和歌山県

2017年7月18日開設

九州DC (福岡)

主な納品先
九州地方全域、沖縄県

2022年9月5日開設

埼玉DC

専用センター
主な納品先
全国

中部DC (名古屋)

主な納品先
愛知県、岐阜県、福井県、
北陸、山梨県、長野県

関東DC (川崎)

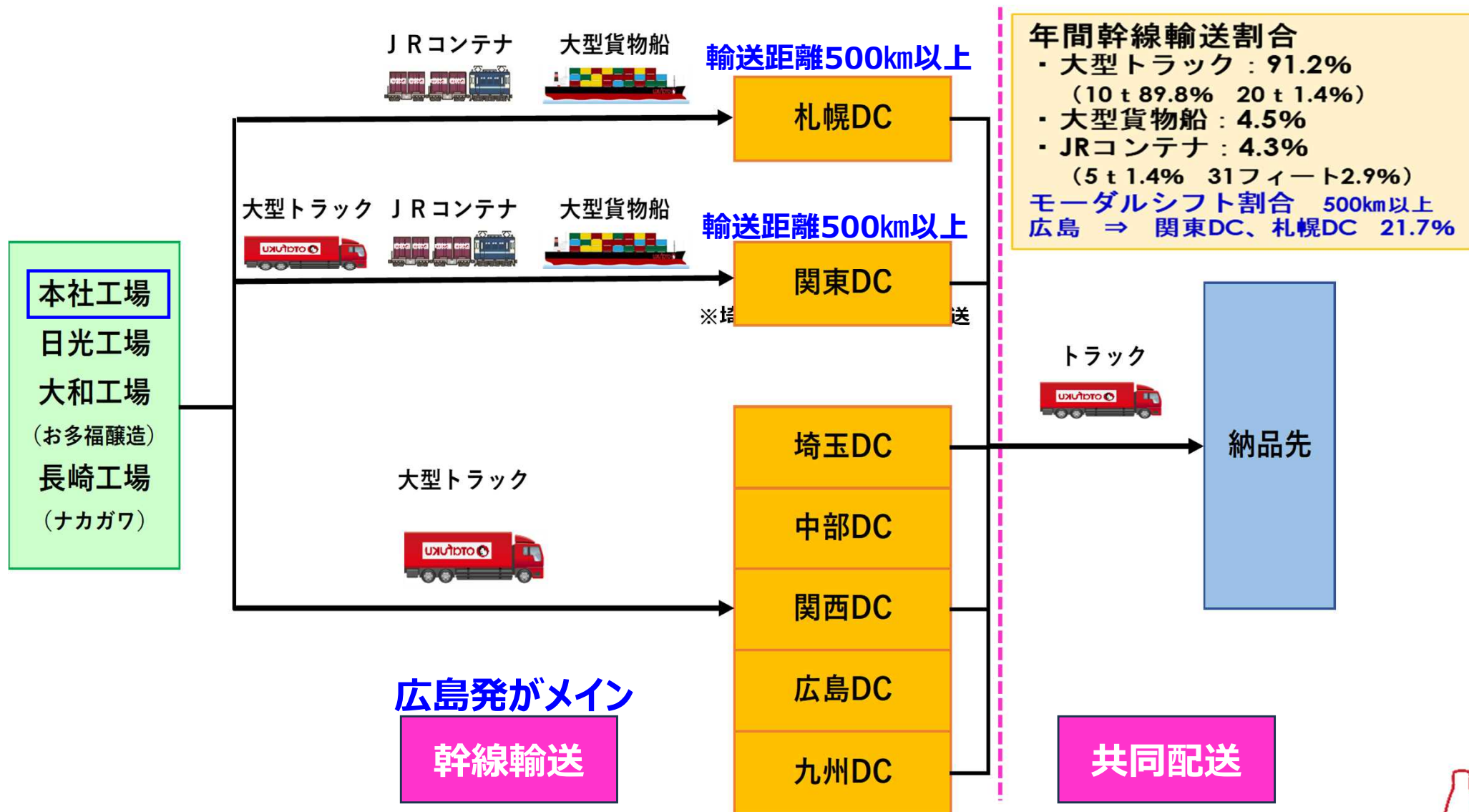
主な納品先
関東地方全域、東北地方全域、
新潟県、北海道

2003年10月1日開設

2008年6月1日開設

2021年～ RORO船運航開始（モーダルシフト）

2024年～ 20tトレーラー運行開始（ドライバー一人当たりの積載量アップ）

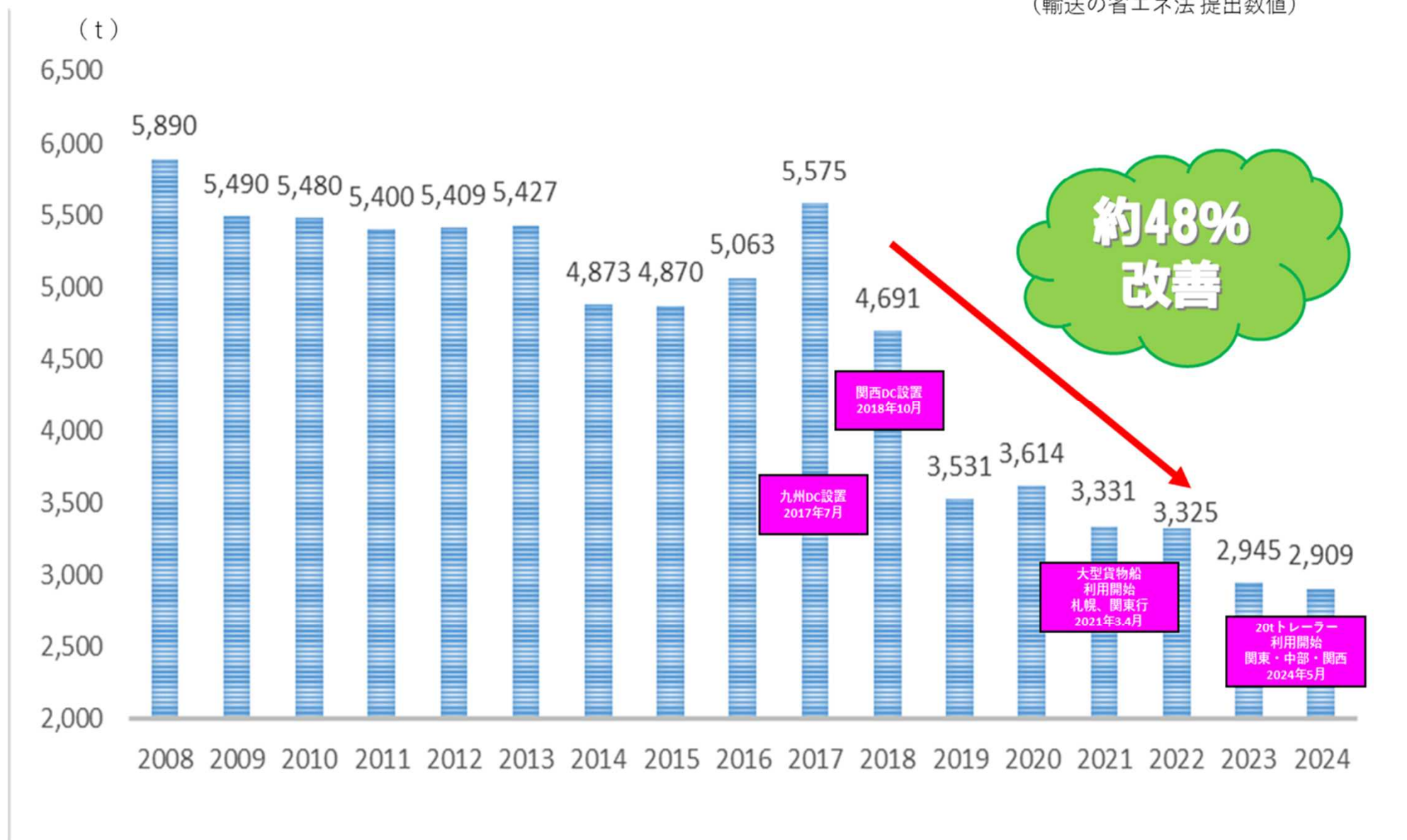


輸送によるCO₂排出量

温室効果ガス排出量 Scope 3



測定期間：毎年4月1日～3月31日
(輸送の省エネ法 提出数値)



2018年4月1日 運用開始

取り組み検討開始：2014年

具体的な取り組み開始：2016年12月

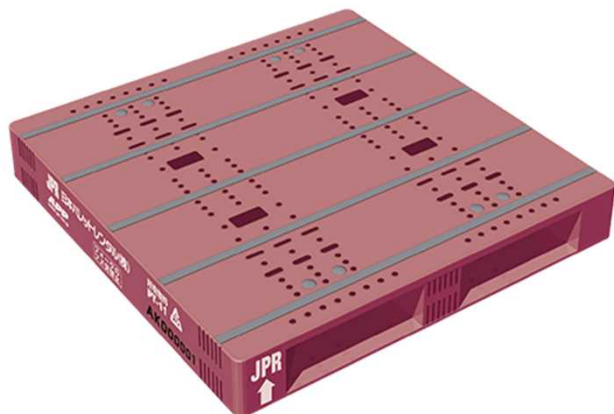
1年4か月の期間で変更

日本パレットレンタル株式会社

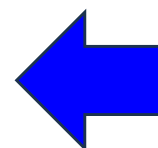
・**プラ製11型片面二方差パレット (PT-11)**

サイズ：1,100cm × 1,100cm

年間使用量：約60万枚



変更前 木製パレット
1100cm × 1300cm



全国一斉
2025年7月実施

納品リードタイムの延長 (+1日) 受注時間の変更

| 現状 | |
|---------------|---------|
| 受注（営業事務サービス課） | |
| ■ 受注締時間 | |
| ・ FAX | : 11:00 |
| ・ EDI(電子データ) | : 10:30 |
| 出荷（物流課） | |
| 翌日納品、中1日納品 | |



| 変更後 | |
|--------------------|----------------|
| 受注（営業事務サービス課） | |
| ■ 受注締時間 | |
| ・ FAX | : 11:00 |
| ・ EDI(電子データ) | : 13:30 |
| 出荷（物流課） | |
| 現状納品LT + 1日 | |

笑顔と感謝のプレゼント企画 2023年5月実施

■実施内容（詳細）

①お礼メッセージ



②手ぬぐい



③ジャンパー



ファスナーへのお名前入り



④作業用グローブ



物流パートナー様の笑顔



① 会社紹介

② 平成29年パイロット事業振り返り

③ 2016年以降主な取り組み事項

④ 改正物流効率化法を踏まえた取り組み

物流事業は全て物流パートナーへ委託

【10年前】

当社の代わりに物流事業を担っていただいている
当社の事業・社員だったら？

【我がこと意識】

物流に関する業務負荷・環境負荷低減への改善
関わる皆様への感謝

【お多福の心】

【現在～未来】

厳しい環境状況からサプライチェーンへの取り組みが重要
永続的に発展する企業へ

【共創】

業務負荷低減

- ・九州DC設置 (2017.7)
- ・出荷パレットラップ養生当社作業へ変更 (2017.10)
- ・JPRパレットへ変更 (2018.4)
- ・関西DC設置 (2018.10)
- ・埼玉DC設置 (2022.9)
- ・納品LT、受注時間LT延長 (2025.7)

感謝の想い

- ・100周年笑顔企画
物流ドライバー様、パートナー様へありがとうを伝えたい (2023.5)

環境負荷低減

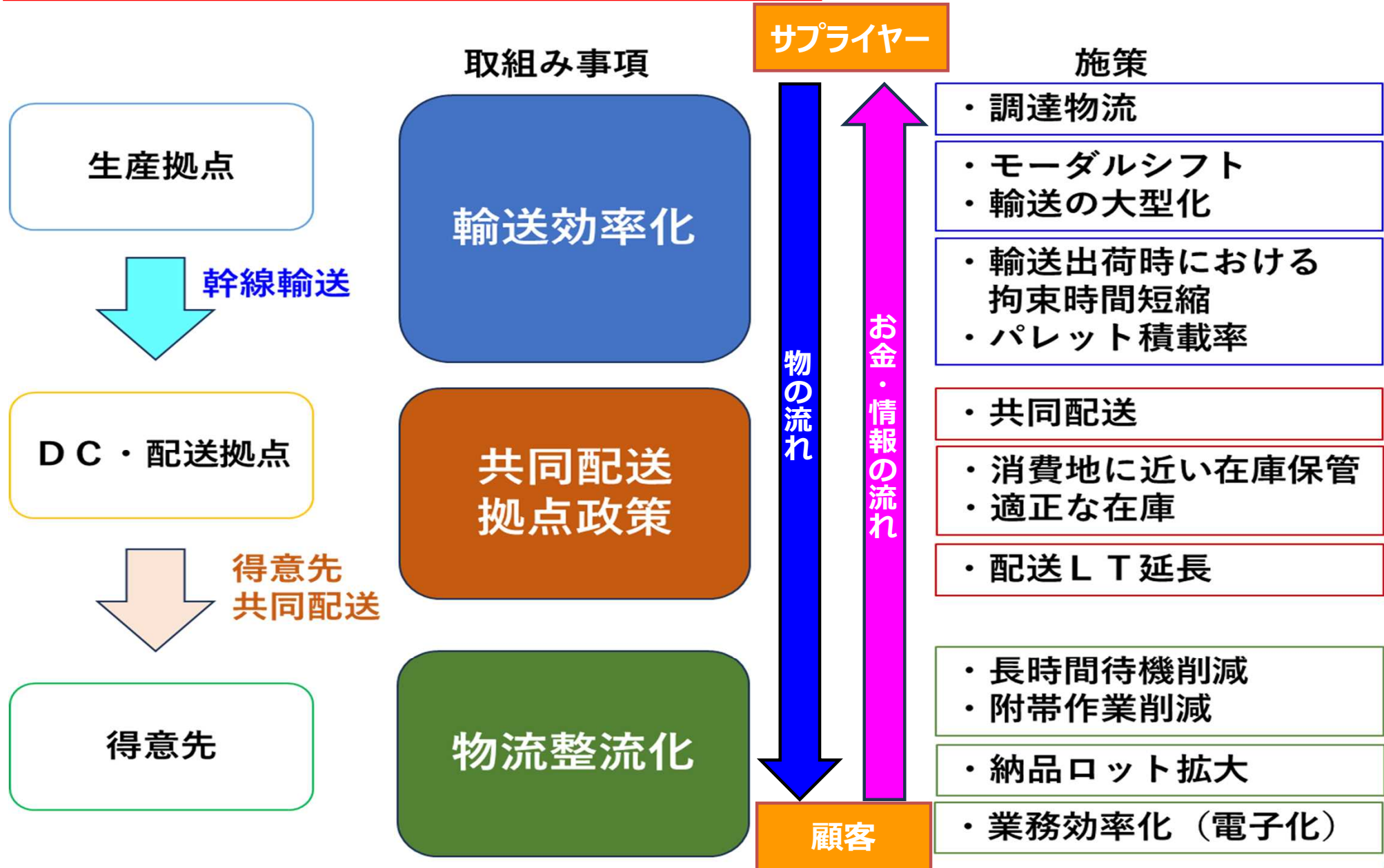
- ・配送単位ロット変更 (2019.3)
- ・家庭用賞味期限表示年月へ変更 (2020.9)
- ・広島→札幌、関東RORO船輸送開始 (2021.3、2021.4)
- ・広島→中部DC、関東DC、関西DC 20tトレーラー輸送開始 (2024.5、2024.10、2025.1)

全体最適改善

- ・適正在庫への取り組み (2018.9)
- ・ユニオンソース統合 (2021.4)
- ・お多福醸造物流統合 (2021.10)
- ・お好みフーズ業務統合 (2025.10)
- ・AOI需要予測システム Aランク品運用開始 (2023.10)
- ・SCM部へ組織変更 (2023.10)

サプライチェーン全体で取り組み

「物・お金・情報」の流れを効率的管理し、最適化を図る

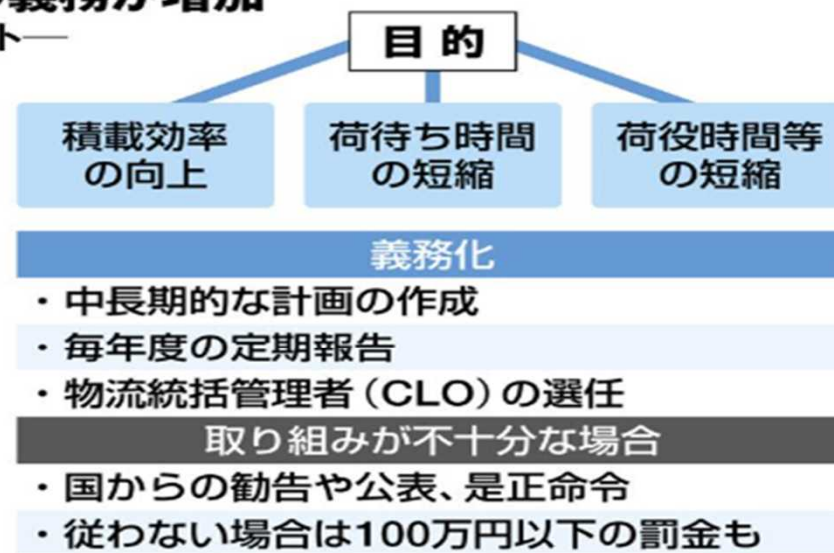


2026年4月「特定荷主の義務」施行への準備

▶ 2026年度から荷主側の義務が増加
—改正物流効率化法のポイント—



9万トン以上の
貨物取り扱い
=特定荷主に指定

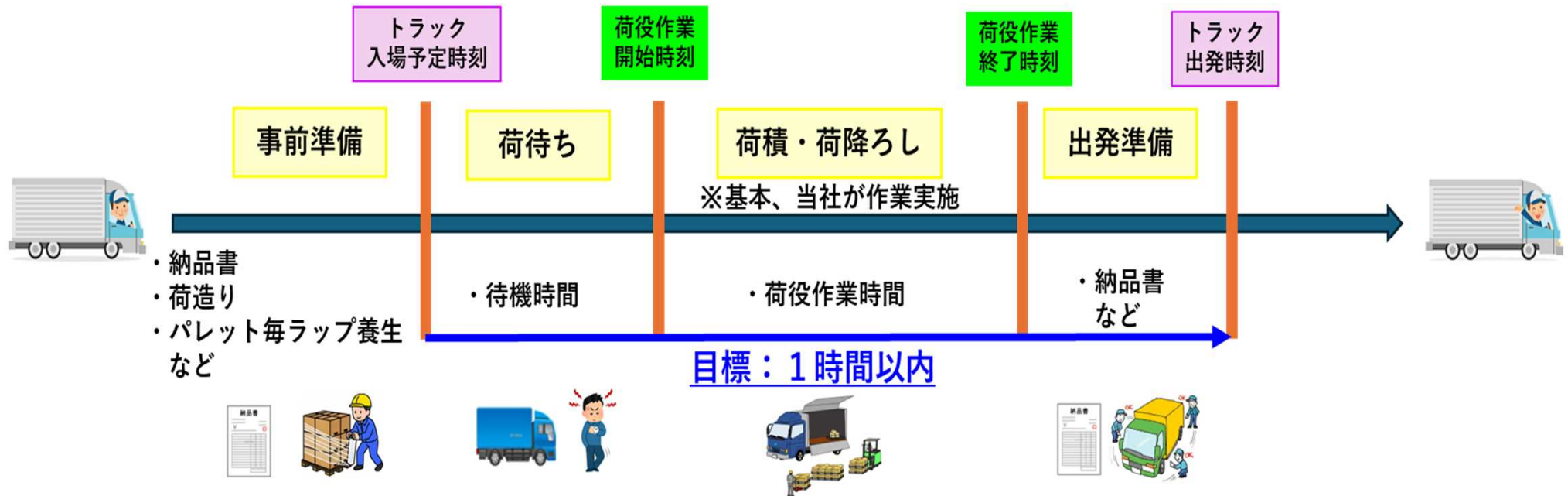


(出所)国土交通省などのホームページや取材を基に東洋経済作成



義務化：2時間以内ルール → 目標：1時間以内

対象部門：オタフクソース 本社工場、日光工場、SCM部
お多福醸造、ナカガワ



義務化：2時間以上経過した場合、原因と対策を講じる

※お多福の心：ドライバーの立場で物事を考え、ゆとりを持って運転（輸送）して頂く

【対象】卸様、納品先様

これまでの商慣習で附帯作業における契約一部しかしていない。
物流会社は対価を支払いしてもしたくない意見が多い。



物流パートナーから附帯作業調査済

※今後も改善依頼が増加する可能性大

【附帯作業事例】

- ・ 荷役（荷物の積み下ろし）
- ・ 棚入れ（納品場所の整理など）
- ・ 商品仕分け
- ・ 検品
- ・ ラベル貼り
- ・ 資材、廃材の回収
- ・ 保管場所までの横持ち運搬
- ・ その他

【改善】

- 書面にて改善依頼
内容によって、
- ・ 附帯作業廃止
 - ・ 附帯作業に対する対価

※契約書類

物流パートナー：見積書、覚書など
卸様、納品先様（必要に応じて）
：見積書、覚書など

附帯業務に対して料金を 支払っていますか？



⚠️ 法令違反となるおそれがあります!!

・ 運送委託者が契約にはない役務を無償で運送事業者に提供させることは、下請法・独占禁止法に違反するおそれがあります。

🚨 要注意! チェックポイント

- 契約にない附帯業務を無償で要求していませんか
- 運送以外の附帯業務に対して、適切な対価を支払っていますか。

👤 こんな取引を目指しませんか？

- 契約時に十分な協議の上、附帯業務の範囲、費用負担等を明確化し、書面化する。
- 合意内容を定期的に見直し、実際の業務と齟齬があれば、十分な協議の上で契約を改める。

企業理念沿った活動と、
物流パートナー様と一緒に



ご清聴ありがとうございました

感謝

